

株式会社かたち開発

2008年3月



ICALREPORT VERSION 2.0

はじめに

iCalReport (以下「本ツール」) は、MacOSX標準の「iCal」に記録されているカレンダーの"イベント"を集計するツールです。イベント名に「カテゴリ」を記載しておくことで、このカテゴリごとに(指定された日付範囲で)集計します。

本ツールを使うことで、iCalを作業時間等の管理用ツールとして利用できます。

動作環境

本ツールは Mac OS X 10.5 (Leopard) 上で動作します。10.4以下では動作しません。

ライセンス

本ツールはフリーウェアとして配布しています。

インストール

ダウンロードしたアーカイブを展開し、中に格納されている「iCalReport.app」ファイル(OSの設定によって「.app」が表示されない場合もあります)を適当な場所にコピーしてください。下のようなアイコンのファイルです。

アンインストール

コピーしたiCalReport.appファイルを削除してください。それ以外にファイルは作成されません(本ツールで生成させたPDFファイルは、各自で適宜削除してください)。

利用方法

1. iCalのイベントに「カテゴリ」を指定

本ツールは、iCalのイベントに特定の"カテゴリ"を指定することで、このカテゴリを拾って集計します(つまり文字列一致)。例えば、「会議」というカテゴリを指定しておけば、この「会議」にどれだけ時間を費やしたか、という計算をしてくれます。



カテゴリの記述方法は、半角のカギ括弧「**[**」と「**]**」で囲むようにします。タグのような形です。各イベント名の先頭に、このタグを記述しておきます。これで、後から本ツールで集計をする際に、このカテゴリ毎にグルーピングして集計します(カテゴリが存在しないイベントについては無記名カテゴリとして別途集計します)。



2. iCalReportで集計処理

一通り記載したら、iCalReportを起動します (iCalは起動させたままでもOKです)。起動後、画面の一番上にある選択項目「集計するカレンダー」から自分が集計させたいカレンダーを指定します。

次に、集計する日付範囲を指定します。当日のみであれば、「開始日」(のカレンダー)も「終了日」(のカレンダー)も、同一日を指定します(集計は「0:00」から「23:59」の範囲で行います)。複数日を指定することもできます。

「集計開始」ボタンを押すことで、下テーブルに「分類」(カテゴリ)と計上した「時間」を表示します。単位は「時間」です。

集計結果をPDFに出力したい場合は、集計開始ボタンを押す前に、このボタンの右にある「PDF出力」のチェックを入れておきます(これを入れた場合、集計開始ボタンを押すとPDFファイルの保存先を指定するダイアログが表示されます)。

分類	時間
開発	6.750
etc	1.000
会議	1.000
TOTAL	8.750

制約事項

- ・「終日イベント」は集計対象としていません。
- ・カテゴリ名の無いイベントを集計した場合、一律に「未分類」としてまとめて集計されます。

変更履歴

Version	内容
1.0	iCalReportをリリース. OSX 10.4にて動作. (未公開)
2.0	OSX 10.5に対応. Calendar Storeキットを利用して実装.

iCalReport ver. 2.0

株式会社 かたち開発

第1版 2008年3月

本アプリケーションとドキュメント類の知的所有権は(株)かたち開発に帰属します.